

競技者注意事項（小学生陸上競技交流大会）

- 1 規 則 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則を準用して実施する。ただし、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技・運営をする。
- 2 練 習 練習は練習場または指定された場所を利用すること。
- 3 プロ訂正 プログラムのナンバーカードや氏名等に記載誤りがあった場合は、午前8時45分までに、受付に申し出ること。
- 4 招 集 (1)招集所は、100mのスタート地点後方に設ける。朝の受付とは別になる。時間等はプログラムを販売するので、すみやかに確認すること。
(2)出場者は自分の出場する種目ごとに、招集所で自分の名前にチェックをすること。
(3)招集時間は、トラック種目は競技開始40分から20分前まで。フィールド種目は競技開始60分前から30分前まで。時間に遅れないようにすること。その後は、競技者係審判員の指示に従って待機すること。
- 5 入 退 場 競技役員の指示に従って入退場すること。
- 6 ナンバーカード (1)ナンバーカードは受付時に配布する。また、競技終了後、必ず返却すること。安全ピンは個人またはチームで用意すること。
(2)ナンバーカードは胸と背に1枚ずつ確実につけること。
(3)トラック種目では、腰用ナンバーカードを腰部分の体側右後方につけること。
- 7 リレー競技 リレー競技に出場するチームは「リレーオーダー用紙」1部を、招集完了60分前までに招集所に提出すること。チーム責任者は忘れずに。なお、用紙は招集所にある。
- 8 競技方法 (1)計 時 トラック種目は写真判定で行う。但し、3・4年生のオープン種目は手動計時でバックストレート行う。
(2)リレー 次走者のバトン受け渡しは、30mのリレーゾーンの中で行う。次走者はゾーンの中でスタートしなければならない。
(3)スタート ①800mは、スタンディングスタートとする。それ以外のトラック種目は、クラウチングスタートとする。また、スターティングブロックの使用は認める。
②不正出発に関するルールは、旧ルールで行い、同一競技者が2回不正出発を行った場合は失格とする。ただし、退場ではなく、オープン出場とする。（そのまま競技は続けるが、順位はなし、次ラウンドへの出場権もなし、記録のみ測定する扱いとする。）
(4)スパイクの使用を認める（トラック7mm以下、フィールド9mm以下）。なお、素足での出場は認めない。
(5)80mH 小学生の場合は小学生用ハードルを使用し、下記の規定で行う。

80mH 競技の規定

高さ	:70cm								
インターバル	: 7m								
台数	:9台								
台数	1台目	2台目	3台目	4台目	5台目	6台目	7台目	8台目	9台目
位置	13m	20m	27m	34m	41m	48m	55m	62m	69m

- (6)フィールド
 - ① 3回試技後、トップ8でさらに3回の試技を行う。
 - ② 3連続試技ではなく3ラウンド試技で行う。
 - ③ 有効試技ならば1回は必ず測定する。（「記録なし」を防ぐ教育的配慮）
 - ④ ジャベリックボール投は、ジャベボールを使用し、やり投げ用ピット（約29°）を使用し、助走は15m以内で実施する。
- (7)混成競技
 - ① 走幅跳及びジャベリックボール投は、3回試技とする。
 - ② 神奈川県小学生混成種目採点表により、3種目の得点を累計する。
- (8)走高跳
 - ① 小学生の場合、跳躍方法は「はさみ跳び」で行う。

② 着地は必ず足裏から着地する。それ以外の着地は無効試技とする。

③ バーの上げ方は、次のとおりとする。(男女とも同じ)

走高跳びのバーの上げ方

練習	試 技							
1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	以後3cm刻みで上げる

9 記録証 競技出場者全員に授与する。記録証は各チーム代表者が浄書すること。

10 賞 状 1位～8位までの入賞者には賞状を授与する。* 1位～3位は表彰式を行う。

11 その他

(1) 小学生で神奈川陸協の「神奈川小学生陸上運動等級記録」に達した場合は、当日中に申請確認した者には、等級別ワッペンを交付する。(詳細についてはプログラムを参照)

(2) 試技およびレーン順は、主催者が公平に決める。(大会プログラム参照)

(3) ゴミは各自で持ち帰る。また、貴重品等は各自の責任で管理すること。